

ひとづくり 2030

～SDGs 達成に向けた人材育成について学び・考え・行動する～

事例紹介② 地域での「ひとづくり」

チャウス自然体験学校（NPO法人 チャウス）

加藤 正幸

チャウス自然体験学校 (NPO法人チャウス)

組織概要

- ・ 民設民営 (NPO法人) の自然学校
 - － 【2002年 (平成14年) 12月】設立
 - － 【2017年 (平成29年) 2月】NPO法人登記
- ・ スタッフ
 - － 専従職員: 2名
 - － 非常勤: 13名
 - － ボランティア: 19名
(高校生・大学生・社会人)
- ・ 活動会員: 116名
【2018年1月1日現在】



全国の自然学校で初！群馬県内で初！

チャウス自然体験学校～主な事業

事業と実績

- ・ 子どもから大人まで幅広い層を対象に、自然体験活動 (野外教育、環境教育、冒険教育等)、ツーリズム、災害教育、持続可能な地域づくり等のプログラム、企画・運営などに関する事業を行い、「人と人」「人と自然」「人と社会」をつなげ豊かな心を育み、持続可能な地域社会の創造・推進に寄与することを目的とする。【定款第1章第3条抜粋】
- ・ 「子ども (未就学児 4歳より参加可能)」「大人」「自然体験指導者」「親子」を対象とした自然体験 (キャンプ・エコツアーなど) を年間を通じて、企画・開催し、これまで4万人以上の方が全国各地、遠くは海外よりご参加頂いております。



チャウス自然体験学校～活動実績

主な受託先

- ・ 群馬県教育委員会 (北毛青少年自然の家) ～不登校児支援プログラム【2005年～現在】
- ・ とちぎ健康福祉協会 (栃木県シルバー大学校) ～高齢者社会参加支援プログラム【2009年～現在】
- ・ 片山右京チャレンジスクール～子ども自然体験活動【2010年～2011年】
- ・ チームUKYOプロロードレースチーム・那須ブラーゼンロードレースチーム・湘南ベルマーレロードレースチーム～チームビルド【2011年～2012年】
- ・ 桐生災害支援ボランティアセンター～運営コーディネート【2011年～現在】
- ・ JTB関東～子ども自然体験活動【2012年】
- ・ (社) 桐生市社会福祉協議会～高校生ボランティアスクール【2012年～現在】
- ・ 環境省「持続可能な地域づくりを担う人材育成事業 (ESD)」【2013年～2015年】
- ・ (公社) 桐生青年会議所～子どもキャンパス・マネジメント【2013年】
- ・ (公社) 高崎青年会議所～子どもキャンプ・企画アドバイザー、リスクマネジメント【2014年～2016年】
- ・ 群馬県教育委員会 教育事務所「子ども放課後教室教育支援者」～リスクマネジメント研修【2012年～2015年】
- ・ (一社) 沼田青年会議所～子どもキャンプ・アイスブレイク【2015年】
- ・ 東京海上日動火災保険 (株) CSR事業～環境保全活動 (企画運営)【2014年・2016年～現在】
- ・ 桐生市民生委員児童委員協議会～「子ども福祉研究部会研修会」(2015年)
- ・ 桐生市倫理法人会「モーニングセミナー (ビジネス講演会)」【2016年】
- ・ 群馬県地球温暖化防止活動推進センター～人材育成事業【2015年～2016年】



ESDをプログラムに導入したきっかけ

環境省

「持続可能な地域づくりを担う人材育成事業」

- ・ 2013年～2015年 (3年間) 群馬県事務局を担い、ESDモデルプログラムの地域化実証事業を実施
 - － 再生可能エネルギー
 - － 地域を流れる河川の保全・保護



環境省モデルプログラムとして採択

- 太陽エネルギーって何だろう？～太陽の恵みが暮らしを支える・かえる【2015年度】



◆詳しくは・・・
「ESD 環境教育プログラム」で検索

同時期に企業CSRを受託

- 東京海上日動火災保険(株)～環境保全活動(企画運営)
【2014年・2016年～現在】

Green Gift プロジェクトとは

東京海上日動火災保険株式会社が、ご契約時にお客様に「ご契約のしおり(約款)」等をホームページで閲覧する方法を選択いただくことにより、紙資源の使用量削減額の一部で環境保護活動をサポートするものです。

2013年より各地域の環境NPOと協力して、主に子どもたちとそのご家族を対象とした環境保護に関する体験活動を行います。

環境保護に関する体験活動を通じて、子どもたちが身近なところから環境について考えるきっかけを持つことによって、持続可能な社会が実現することを目指しています。

主催

協賛

後援(予定)

「ふるさとのきれいな川を創ろう (川の保全・保護活動)」

- 第1回 故郷に戻るサケの遡上観察と
ゴミ拾いウォーク
- 第2回 サケの卵の配付と
川辺のゴミ拾いウォーク
- 第3回 サケの稚魚放流とゴミ拾いウォーク
- 第4回 ヤマメの稚魚放流・環境学習と
ゴミ拾いウォーク





NPO法人 チャウス®



NPO法人 チャウス®



NPO法人 チャウス®

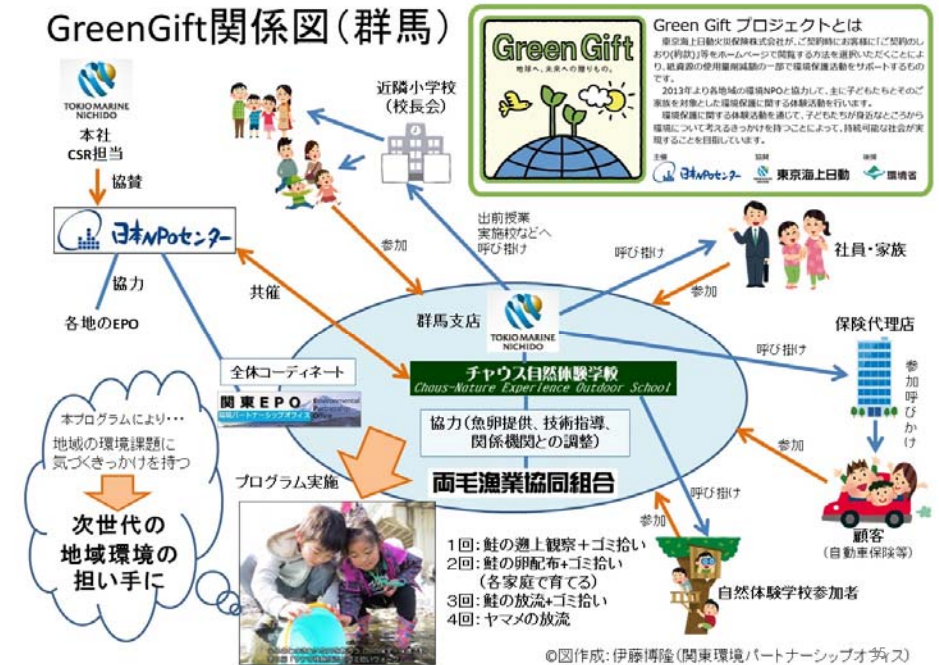


NPO法人 チャウス®



14

GreenGift関係図(群馬)



SDGs × チャウス自然体験学校 (NPO法人 チャウス)

- **People (人間)**
世界の貧困をなくす
- **Prosperity (繁栄)**
「つづく経済」をつくる
- **Planet (地球)**
環境を守り育てる
- **Peace (平和)**
SDGsを実現する仕組み
- **Partnership (協働)**
SDGsの実現する資金と協力関係



NPO法人 チャウス©

16

SDGs × チャウス自然体験学校 (NPO法人 チャウス)



NPO法人 チャウス©

17

その他の取組

- 地域環境保護・保全活動での実践
 - サケプログラム
 - ヤマメプログラム(発展)
 - カワウプログラム(地域発展)
- 小学校理科・総合的な学習の時間内での授業(ソーラークッカー)
 - ソーラークッカー教材開発(足利工業大学)
 - 主催イベント内での実践(子ども・親子対象)
- 防災教育プログラム開発
 - 群馬大学など



NPO法人 チャウス©

18

今後の課題

- ① ESD(SDGs)の理解・普及
 - ② 人財育成
 - ③ 2020年度予定の学習指導要領改定
- その他、主催事業全てのプログラム(活動)をESD化+人財育成



NPO法人 チャウス©

19

発表者プロフィール

加藤 正幸(かとう まさゆき)

- 1976(S51)年生まれ、群馬県桐生市出身・在住。
 - 里山・川に囲まれた自然豊かな地域で育ち、幼少期は朝から日が暮れるまで自然遊びに明け暮れる。学生時代より地域で青少年ボランティア活動に熱中。ある日、自然体験の全国フォーラム(約20年前)に参加して、自然体験で飯を食っている人たちに大変な衝撃を受け、プロの自然体験活動指導者を目指す。
 - 2000年4月～2003年3月まで(独)国立赤城青年の家(現・青少年交流の家)に勤務、自然体験活動の指導・運営マネージメントを学ぶ。
 - 2002年12月チャウス自然体験学校設立、2017年2月にNPO法人取得。理事長。
 - リスクマネージャー(安全管理責任者)
 - セキュリティマネージャー(情報管理責任者)
- 【資格など】
- ・キャンプ上級指導者、環境教育上級指導者
- 【専門分野】
- ・人財育成(地域・学生・プロスポーツなど)
 - ・安全管理アドバイザー
 - ・ESD推進アドバイザー



NPO法人 チャウス©

20

この件に関するご質問・お問い合わせは

チャウス自然体験学校(NPO法人 チャウス)

住所: 群馬県桐生市広沢町7-7-5

ホームページ

検索:



担当: 加藤 正幸

NPO法人 チャウス©

21